

3類型	鋳工業品	通巻番号	3-25-221
地域資源名	木曾漆器	認定日	平成26年2月3日
地域	長野県塩尻市	所管省庁	経済産業省

事業名： 業務用食器市場に向けた漆塗り金属製食器の商品化

会社名：株式会社本山漆器店

所在地：長野県塩尻市大字木曾平沢 2196

連絡先：TEL：0264-34-2511

H P：<http://www.motoyama-japan.com/>

FAX：0264-34-2513

事業概要(新たな活用の視点)

漆器は生活様式の大きな変化や、合成樹脂塗料等の代替製品の普及により産業全体が衰退しているが、漆塗り独特の仕上がり感は感性に響く価値があるため、漆塗り製品の多様化をはかることで需要へつなげ、次世代へ技術をつなげていくことが必要とされている。

当社は、全国の宿泊産業や外食産業を対象に業務用什器や食器を販売しているなかで、金属製食器への漆塗りの可能性を強く示唆されたため、漆塗りの良さを生かした「漆塗り金属製食器」の商品化を目指すこととした。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

業務用の金属製食器において、漆を塗った商品は、ほとんどなく、新規性が高い。また、業務用に求められる製品性能を担保しながらも、できるだけ低コスト化をはかることを考慮しながら商品開発をすすめるため、競合製品は少ない。

◆市場性

外国人受け入れに積極的な宿泊産業や外食産業を中心に、他との差別化やサービスの付加価値として金属製食器に“和”テイストを求めるニーズが多く寄せられている。

◆販路

当社の本支店の営業を通して、宿泊産業や外食産業の顧客を対象として新規製品を展開するとともに、取引先である金属製食器メーカーの販売網に協力を求めていく。

地域資源における関係事業者との連携

長野県工業技術総合センター・地域資源製品開発支援センターと連携して、堅牢性の確保と商品開発展開を実施する。また、本事業の実施において、木曾漆器工業協同組合及び組合員企業等に協力を求め、金属への漆塗り技術を定着させ、漆塗りに関わる幅広い漆器産地として発展することに貢献したい。



【ステンレスへの漆塗りの水差し】



【ステンレスプレート縁部への朱漆塗り】



【銅メッキポットへの漆塗り】